



↑ビデオ鑑賞でお化けが出そうな雰囲気 연출

涼しく楽しい真夏の夜

小浜スポーツクラブ肝試し

小浜スポーツクラブ（町口博一会長＝20人）は8月3日、小浜子ども育成会の親子キャンプにあわせて肝試し大会を実施しました。

同クラブは、水田を使った泥んこバレーなどを催していましたが、子どもたちとのふれあいと交流を深めるため、新しい試みとしてこの大会を企画。子どもたちの夏休みの思い出作りに一役買いました。

当日は、会員が河童をはじめとするおなじみの妖怪やお化けにふん装し、各所に隠れました。夕方、子どもたちにホラービデオを鑑賞してもらった後、提灯などをつるしたコースを約10分ほどかけて回りました。コース内では、叫び声や笑い声が響き、子どもたちは真夏の暑い夜に、涼しく楽しい時間を過ごしたようです。

会員たちは「来年はさらにグレードアップさせて、子どもたちを楽しませたい」と話していました。

海外青年協力隊として活動したい

青少年海外協力隊派遣事業発表会

県青少年国際協力体験事業で7月20日から1週間、ラオス共和国を訪れた川床中3年の中藺賢志君が、川床コミュニティセンターで8月30日、国際協力の体験発表をしました。

同センターでキャンプを張っていた青年海外協力隊鹿児島県OB会々員や、地元の子供たちが見守るなか、中藺君はホームステイの体験談やラオスの地理、文化などを紹介しました。

熱心に発表を続ける中藺君は最後に、「水産関係の技術を身に付け、協力隊として活動したい」と将来の夢を語りました。



↑ラオス共和国での体験談を語る中藺君

↓入所者を楽しませた演奏会



意欲的に地域で活動したい

あかね園で長中吹奏楽部が演奏

8月30日、特別養護老人ホームあかね園の夏祭り納涼大会に、長島中学校の吹奏楽部が出演しました。

祭りでは、部員19人が「川の流れるように」など2曲の演奏を披露し、入所者たちからたくさんの拍手や笑顔が送られました。

同部顧問の鈴木宗親教諭は「コンクールとは違った伸びやかな演奏ができた。今後も意欲的に地域で活動していきたい」と話していました。